

今週の感染症発生動向

◆腸管出血性大腸菌感染症の発生は、今年になって37例目

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第43週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---結核 3名
- ・三類感染症---**腸管出血性大腸菌感染症 1名**(患者、血清型・毒素型:O157・VT1+VT2)
腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、3.その他に示すとおりです。
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**後天性免疫不全症候群 1名**(病型:AIDS、年齢:52歳)

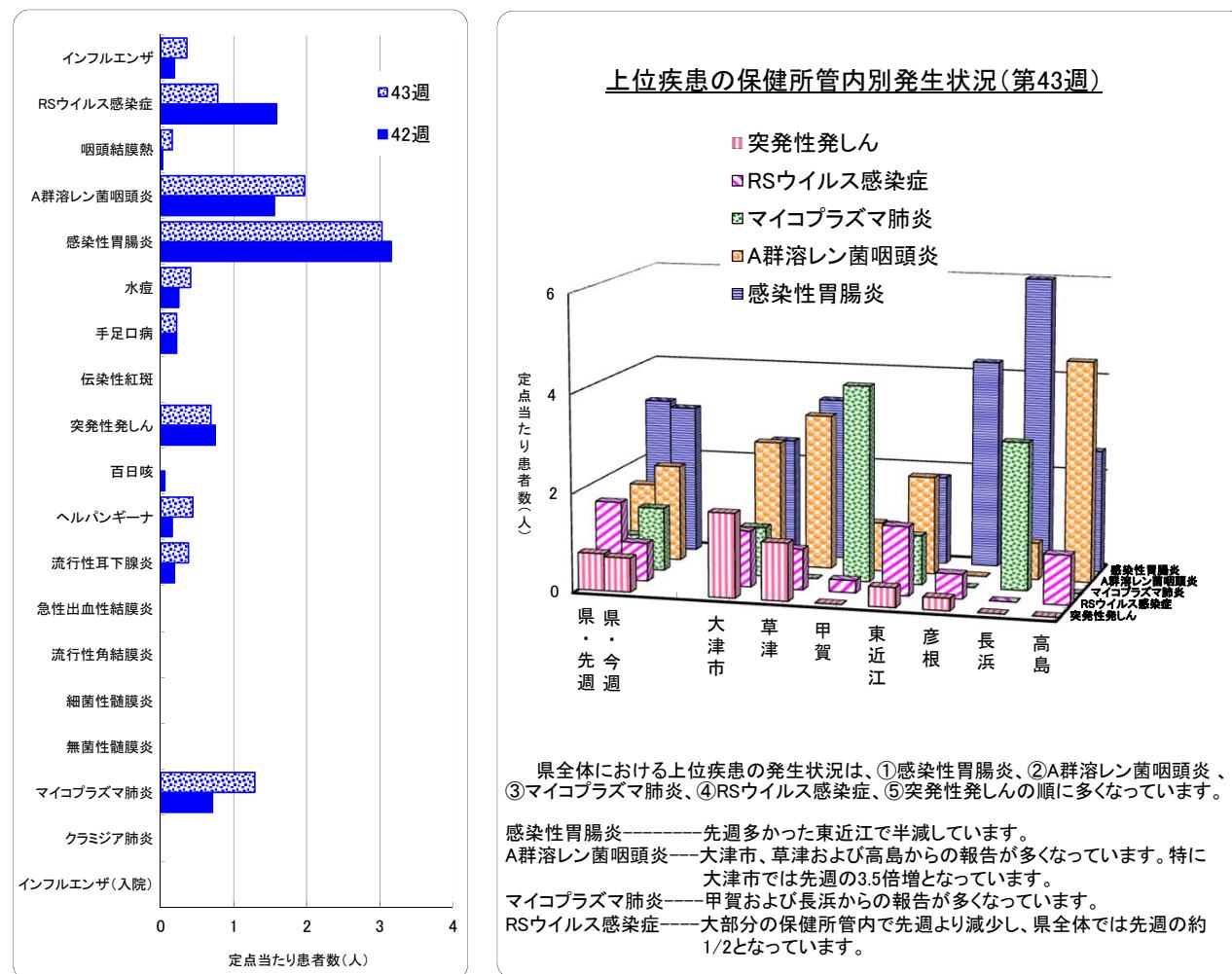
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(270名)より増加し、今週は286名となっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警報---ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00) 高島保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ことになります。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 ^(*1)		平成22年累積報告数 ^(*2)	
		滋賀(43週)	全国 ^(*3) (42週 ^注)	滋賀	全国 ^(*3)	滋賀	全国 ^(*3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	216	23,390	338	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	3	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	181	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	37	3,350	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	17	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	95	0	61	0	66
	A型肝炎	1	138	0	176	3	347
	オウム病	0	6	0	13	1	11
	つつが虫病	1	203	1	461	2	407
	デング熱	1	183	1	104	2	244
	マラリア	2	65	0	78	0	73
	レジオネラ症	8	685	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	12	708	2	814	7	843
	ウイルス性肝炎	2	177	1	249	3	221
	急性脳炎	3	299	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	147	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	204	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	8	1,124	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	56	1	68	1	77
	梅毒	2	691	6	827	9	621
	破傷風	0	89	1	114	0	106
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	76	0	73	2	120
	風しん	12	1,889	2	374	5	87
	麻しん	1	274	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：43週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第38週～43週、9/17～10/28)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			38週	39週	40週	41週	42週	43週	週				
			9/17～	9/24～	10/1～	10/8～	10/15～	10/22～	39	40	41	42	43
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.02	0.02	0.08	0.11	0.19	0.36					
小児科	32	RSウイルス感染症	0.44	0.53	1.09	1.25	1.59	0.78					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.13	0.22	0	0.03	0.03	0.16					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	1.28	1.44	1.38	1.56	1.97					
		感染性胃腸炎	2.72	3.09	2.69	2.09	3.16	3.03					
		水痘	0.28	0.25	0.28	0.41	0.25	0.41					
		手足口病	0.31	0.19	0.19	0.25	0.22	0.22					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0					
		突発性発しん	0.47	0.53	0.44	0.56	0.75	0.69					
		百日咳	0.03	0	0	0.03	0.06	0					
		ヘルパンギーナ	0.38	0.56	0.44	0.25	0.16	0.44					
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.13	0.03	0.19	0.19	0.38					
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.63	0.25	0.25	0.13	0	0					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.86	0.71	1.29	0.14	0.71	1.29					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0.14	0	0	0	0					
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0	0	0					

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第43週、10/22～10/28)

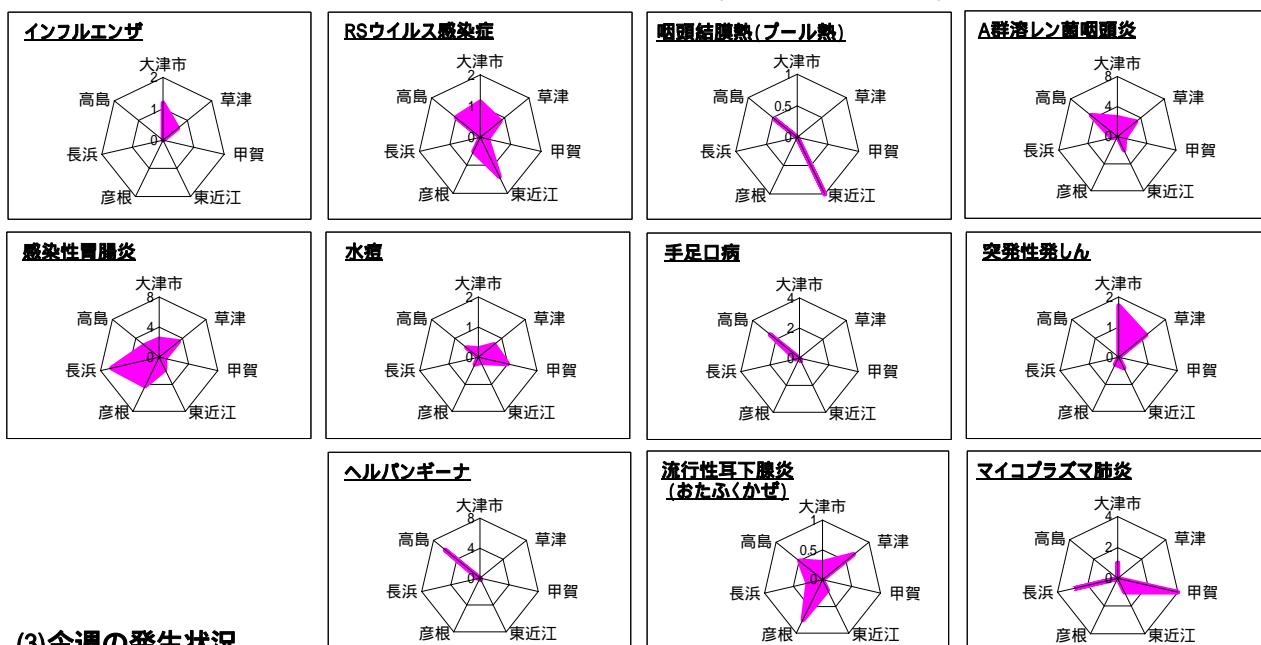
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.36	1.18	0.60	0	0	0	0	0	■
RSウイルス感染症	0.78	1.14	0.83	0.25	1.40	0.50	0	1.00	■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.16	0	0	0	1.00	0	0	0.50	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97	2.57	3.17	1.00	2.00	0	0.75	4.50	■■
感染性胃腸炎	3.03	2.43	3.33	0.75	1.80	4.25	6.50	2.50	■■■
水痘	0.41	0.29	0.67	1.00	0.20	0.25	0	0.50	■
手足口病	0.22	0	0	0	0.20	0	0.25	2.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.69	1.71	1.17	0	0.40	0.25	0	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.44	0	0	0	0.20	0	0.25	6.00	■
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.38	0.29	0.67	0	0.20	0.75	0.25	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	1.29	1.00	0	4.00	1.00	0	3.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

<インフルエンザ>

<ヘルパンギーナ>

<流行性耳下腺炎>

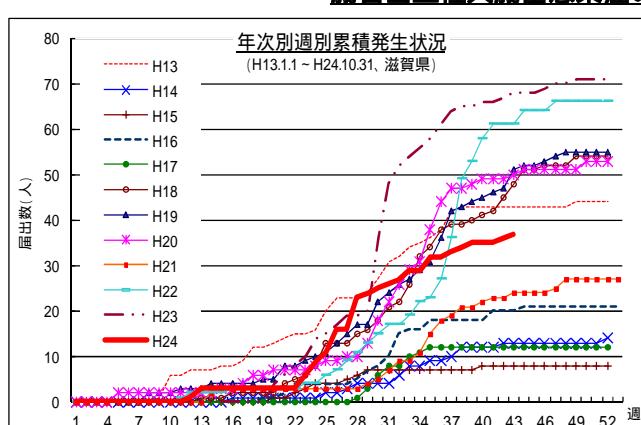
大津市および草津保健所管内からの報告があり、県全体では先週より倍増となっています。

特に、大津市保健所管内からの報告が多く定点当たり患者数は1.18となっています。
高島保健所管内では減少傾向を示していましたが、今週の定点当たり患者数は先週より増加し6.00となっています。引き続き警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えています。
草津保健所管内以外からの報告があり、県全体では先週より倍増しています。

3. その他

トップページに戻る

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況



平成24年10月31日現在の届出数は37名で、男性23名、女性14名です。診断の類型は患者29名、無症状病原体保有者8名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1 & VT2 17名 O157・VT1 1名
O157・VT2 6名 O146・VT1 1名
O146・VT1 & VT2 1名 O145・VT2 3名
O26・VT1 & VT2 2名 O26・VT1 6名です。

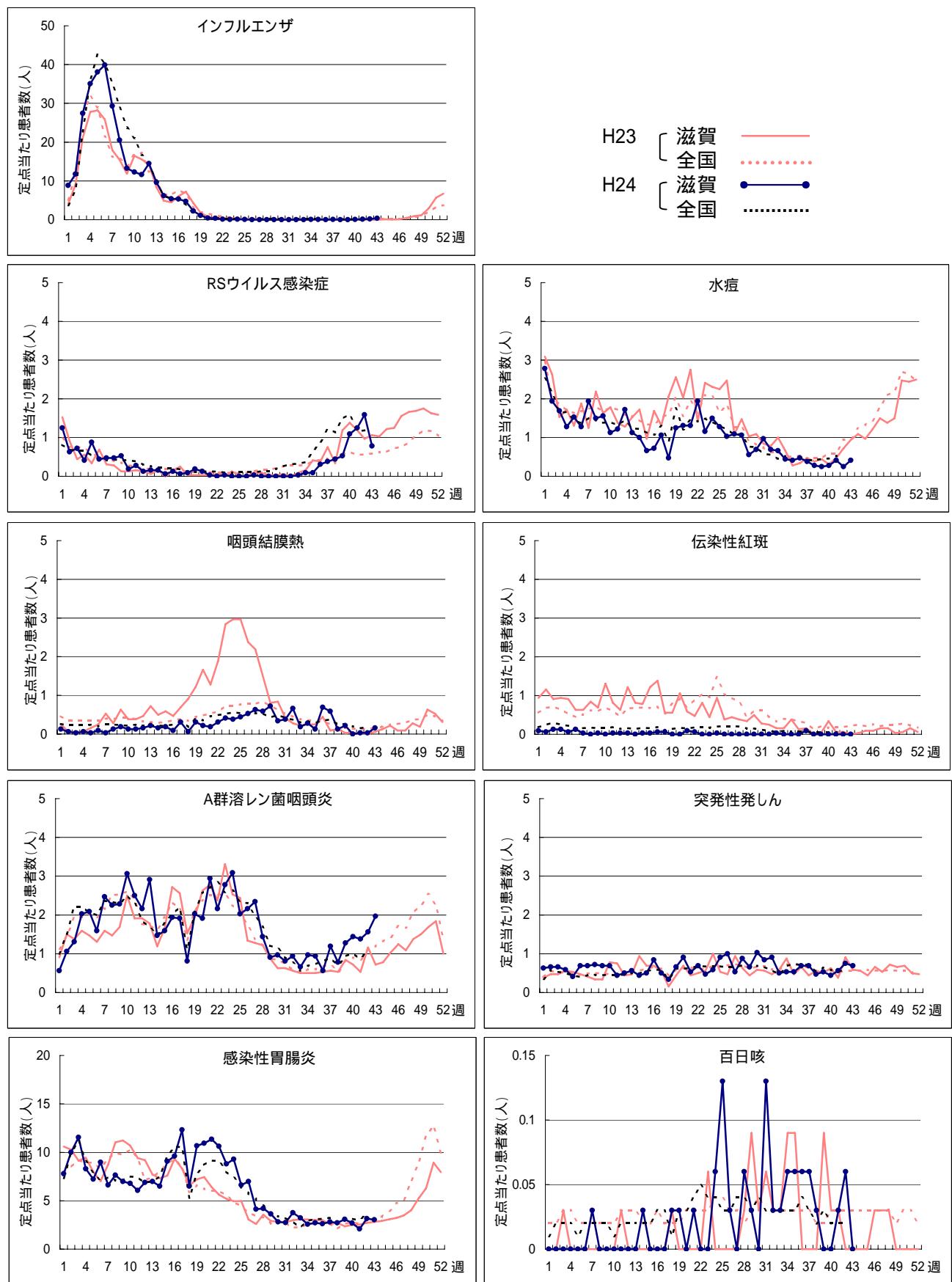
年齢は

0～9歳 12名、10～19歳 5名、20～29歳 7名
30～39歳 4名、40～49歳 2名、50～59歳 4名
60～69歳 1名、70歳以上 2名です。

届出保健所管内別は

大津市 9名、草津 13名、東近江 11名、彦根 3名
長浜 1名です。

疾病別定点当たり患者数(平成24年第43週、H24.1.2～H24.10.28)



疾病別定点当たり患者数

(平成24年第43週、H24.1.2～H24.10.28)

H23 滋賀 全国
H24 滋賀 全国

